高知県梼原町まち・ひと・しごと創生総合戦略「小さな拠点ゆすはらづくり」の全体像

総合戦略【2015（平成27）年度～2019（平成31）年度の5か年】

人口ビジョン

(1) 梼原町の現状
住民基本台帳により記録が残る1955（昭和30）年度から分析を行った。
1957（昭和32）年度末人口11,217人をピークに社会動向による人口減少が続いている。

【時代の流れによる人口動態の3つ変動期】

①急激な社会減少時代（1958～1972年）

高度経済成長期の波により都市部への集団就職により急激な社会減少となる。

②ダブル減少時代（1980～2011年）

社会減少が続く中で、自然動態においても減少に転じた。これらの時代は、「日本の景気」によって左右され減少してきたと考えられる。

③安心安全な暮らしを求める時代（2012年～）

価値観の変化により、仕事よりも安全な住環境や子育て環境を求める移住者が増加。人の流れが変わり始め、社会増加へ転じた。

④梼原町は、国道の開通や施設建設によって、その都度人の流れが大きく変わっている。この事はソフトとハードそれぞれの事業が密に関わって展開してきた事が大きい。

(2) 目指すべき方向

人口の将来展望2020（平成32）年度に
4,000人を確保する。

計画最終年度 2019（平成31）年度
3,960人を目標とする。

（2040（平成52）年度の人口は3,496人）

総合戦略の位置づけ

人口ビジョンを踏まえ、かつ本町における最上位の計画である第6次梼原町総合振興計画が目指す6つの社会づくりを実現するための戦略として策定

基本目標

①梼原町における安定した雇用を創出する

②梼原町への新しいひとの流れをつくる

③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

④道の駅ゆすはらを拠点として、6つの小さな拠点と連携し、生きる仕組みをつくる

実現するための6つの施策

①人と人の絆を大切にすまち

②助け合い・支え合うまち

③保健・医療・福祉・介護の充実したまち

④生き物にやさしい低炭素なまち

⑤自信あふれる梼原人を育てるまち

⑥選ばれるまち

基本目標（成果指標）

①梼原町における安定した雇用を創出する。

◆若者等雇用創出数
2019年度までの5年間で200人

②梼原町への新しいひとの流れをつくる。

◆交流人口 36万人/年

◆東京等都市部からの転入者
5年間 946人 72.0%増加
◆町外への転出者
5年間 418人 24.0%抑制

③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。

◆婚姻数 5年間 46組

◆出生数 5年間 125人

◆合計特殊出生率 1.82
(2040（平成52）年度 2.07)

④道の駅ゆすはらを拠点として、6つの小さな拠点と連携し、生きる仕組みをつくる。

◆集落活動センター 3カ所

主な重要業績評価指標（KPI）

①雇用創出数
◆新しい道の駅ゆすはら 30人
◆集落活動センター 14人
◆ゆすはら複合福祉施設 27人
◆総合相談窓口（社会福祉協議会） 6人
◆ゆすはら森の中の丸ごと図書館 8人
◆ゆすはら産業担い手育成塾 25人
◆町内の企業・団体との連携 90人

②女性の就業率
◆認定こども園保護者女性の就業率 80%以上

①交流人口の拡大
◆新しい道の駅ゆすはら 19万人/年
◆社員の健康再生を図る企業と締結連携 2社
◆奥四万十博による宿泊者数 10%増（平成28年度末）
(マルシェ及び雲の上のホテル)
◆奥四万十博による観光客入込者数 20%増（平成28年度末）
(梼原千百年物語り展示会場)
◆環境先進企業と連携したツアーの開催 5回/年
◆ゆすはらキャンパス 児童・学生受入数 500人以上/年
◆ゆすはらキャンパス利用大学 7大学

②環境モデル都市の推進
◆再生可能エネルギー自給率 31.8%
◆木質ペレットの生産量 1,700トン/年

③移住定住の推進
◆年間移住相談件数 350件/年
◆くらそう梼原でフェア開催 3回/年
◆ホームページアクセス数 120,000件/年
◆空き家活用住宅戸数 40戸確保
◆若者定住住宅整備戸数 5年間 45戸
◆梼原学園から梼原高校へ 進学率 80%以上

①切れ目のない支援
◆妊産婦への支援実施 100%
②活動を通じて結婚の希望をかなえる
◆であいの場づくり 3回/年
◆きっかけの場づくり「地域青年サークル」創設 1組織
③若い世代の経済的支援と子どもの夢をかなえる
◆奨学資金貸付制度活用 10件/年（内医療・福祉 3件/年）
④女性の活躍の場の拡大
◆認定こども園保護者女性の就業率（再掲） 80%以上
⑤子ども子育て住環境の充実
◆若者定住住宅整備件数（再掲） 5年間 45件

①地域食材を活かしお金に変える
◆特産品開発グループ 3グループ以上

②地域運営システムの確立
◆地域運営を担う組織 3組織

③健康意識の高い地域づくり
◆特定健診率 80%以上

④ゆすはら応援隊の配置人数 6人

⑤集落活動センターを支援する町職員の配置人数 3人

主な施策

①人と人の絆を大切にすまち
◆地域産業の振興・健康再生の場・交流人口の拡大
・小さな拠点「道の駅ゆすはら」整備事業【再生】
②助け合い・支え合うまち
◆助け合い・支え合い 地域で生きる仕組みづくり
・集落活動センター推進事業【新規・継続】
③保健・医療・福祉・介護の充実したまち
◆地域包括ケアシステムの充実
・ゆすはら複合福祉施設整備事業【新規】
・総合相談窓口拠点づくり（地域福祉コーディネーター配置）【新規】
④自信あふれる梼原人を育てるまち
◆生涯を通じて楽しく学ぶ場（人と人をつなぐ場）づくり
・ゆすはら森の中の丸ごと図書館整備事業【新規】
◆産業を支える人づくり
・ゆすはら産業担い手育成塾（森づくり・土づくり・商い）【新規】

①人と人の絆を大切にすまち
◆交流人口の拡大
・小さな拠点「道の駅ゆすはら」整備事業（再掲）【再生】
・広域観光博覧会「奥四万十博」の開催【新規】
②保健・医療・福祉・介護の充実したまち
◆地域包括ケアシステムの充実
・ゆすはら複合福祉施設整備事業（再掲）【新規】
③生き物にやさしい低炭素なまち
◆自然や環境に配慮した暮らしの推進
・環境モデル都市の推進【継続】
・新エネルギー施設導入事業【継続】
・再生可能エネルギー自給率100%への取り組み【継続】
④自信あふれる梼原人を育てるまち
◆魅力ある梼原高校づくり
・梼原高校の寮施設整備及び入寮支援（安心の学校活動支援）【新規・継続】
・部活動などを通じた交流支援（文武両道の人づくり）【新規】
・国際人を育てる海外留学制度（グローバルな人材育成）【継続】
◆町全域を学ぶ場（ゆすはらキャンパス）として活かす
・町外の小中学校、高等学校、大学の受入【継続】
⑤選ばれるまち
◆移住定住の促進
・移住定住コーディネーターの配置【継続】
・くらそう梼原でサポート町民会議【継続】
・空き家活用促進事業【継続】
・移住定住促進住宅【新規】
・若者定住住宅整備事業及び町産材利用促進事業【継続】

①保健・医療・福祉・介護の充実したまち
◆妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援
・ゆすはら子育て世代包括支援センター設立【新規】
◆0歳～15歳まで医療費無料化【継続】
②自信あふれる梼原人を育てるまち
◆結婚の希望をかなえる
・であいきっかけ応援事業【継続】
◆子育て支援の充実
・保育料の無料化【継続】
・幼稚園授業料・給食費の無料化【新規】
・一貫教育支援センター（18年間で子どもを育てる）【継続】
・国際人を育てる海外研修・海外留学制度【継続】
・奨学資金貸付制度【継続】
③選ばれるまち
◆子ども子育て世代住環境整備
・若者定住住宅整備事業及び町産材利用促進事業（再掲）【継続】

①人と人の絆を大切にすまち
◆地域食材・特産品の販路拡大
・小さな拠点と連携して特産品の開発・販売を行うグループへの支援【新規】
②助け合い・支え合うまち
◆助け合い・支え合い 地域で生きる仕組みづくり
・集落活動センター推進事業【新規・継続】（再掲）
「梼原で楽しく生きる仕組みづくり」
・集落活動支援の体制づくり（共同作業・地域文化継承）
・地域経済の循環に向けた仕組みづくり（特産品づくり、地域を担う組織づくり）
・地域資源を活かした交流人口拡大の仕組みづくり（都市との交流の場づくり）
・高齢者等生活支援・見守りの仕組みづくり（移動・買い物支援、集いの場）
・「自分の健康は自分で守る」受けたい健診の仕組みづくり（健康づくり）
・「自分の命は自分で守る」災害に強い集落づくり（自主防災組織の充実）